



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

「自然との共生」、

あなたは どう思いますか？



明石 嘉一郎

絶滅が心配されている在来のメダカを駆逐するとして、外来生物法の規制対象種に指定されたカダヤシ（タップミノー：北米産淡水魚）は、汚れた水に強く、蚊の幼虫のボウフラを食べるため、日本脳炎を媒介する蚊（コガタアカイエカ）対策として、1968年徳島市と医師会が東京羽田空港の排水溝から採取し、飼育して湿地や用水路に放流してきた。当時同じ悩みを抱える多くの自治体に同市からカダヤシが西日本を中心に提供され、各地で自然繁殖するようになったが、都市化による湿地減少や蚊対策の変更（昆虫成長抑制剤）と、外来生物法の論議を受けて飼育や放流が原則禁止された。

礼文島でカラフトアツモリソウをめぐる論争（自生か移入か）が続いている。レブンアツモリソウ群落の特別保護地域の遊歩道近くにカラフトアツモリソウが見つかったのは、1980年。本来なら希少植物として保全対象になるはずだが、生えた場所などから「自生種かどうか疑問」との指摘が出た。園芸関係者が種子をまいたという話が伝わったが、誰もどのようにして生えたかを確認できなかった。論争が続く間、保護区内でアツモリソウ属内での交雑種の花が次々咲き始めた。環境省は、レブンアツモリソウ保全のため、毎夏、雑種の花を摘む作業を続けている。一方、森林総合研究所は遺伝分析を進めている。

トマトの受粉用に輸入されているセイヨウオオマルハナバチが「トマトの栽培ハウス」から逃げ出し、野生化する例が急増。北海道最大の原生自然を残す大雪山国立公園の直近まで分布域を広げている。セイヨウオオマルハナバチは、トマト以外の植物では、花の横に穴を開けて蜜を採る「盗蜜」行動をするため、公園内の高山植物は受粉を妨げられ、種子を作れなくなると、専門家らが指摘。

以上2006年中に読売新聞に掲載された記事の数例です。人間が自然と共生するには、多くの努力が必要だと思います。あなたは どう考えますか。

「地球を大切にしてください。それはあなたの親から授かったものではありません。あなたの子から預かっているものなのです。」

というケニアの諺を最後に・・・終わります。



実施日：1月18日（木）

天候 晴時々曇、気温13度 暖かい日和に恵まれ、参加者17名 担当 古川祐司

「蟻通」でバスを降りれば、まわりは文学と歴史の路。高見川、日裏川、四郷川が合流する蟻通橋付近は、清冽な流れと蒼い淵が広がり、水の神様「罔象女神みずはのめのかみ」を祀るにふさわしい風景が広がる。 **瀧の水直ぐ透き通る神の淵**（山口誓子）

担当よりコースの概略を説明の後、会長の川井さんから、「今回はコースに因んで各自一句作っては」という提案があり、全員は異議なく（？）賛同。「良い俳句を作るポイント」を教えてもらい、すっかりヤル気になって投句用紙と鉛筆を手にスタートする。（11時）

蟻通神社、正式に丹生川上神社（中社）は、天武天皇の創建にかかる神社。水を司る神として古来より雨乞い、霖雨止めの祈願が行われ、雨乞いには黒馬、止雨には白馬が幣帛と共に朝廷より奉納された。拝殿には立派な絵馬が架かる。

小（おむら）の集落には、珍しい藁葺きの薬師堂、中世の城主小川氏の墓所には風格のある13重の石塔、菩提寺の天照寺は僧の撞く鐘の音がひととき澄んで響く。隣接する石鼎庵は原石鼎がこよなく愛した場所。 **陽だまりのきざはし上る天照寺**（弓場厚次）

ここから下って高見川沿いの道へ。神の清流にはごみ一つない。「ごみを抛るなんて絶対しません」とは村の人。川原にカワガラス、キセキレイ、カワセミ。小田さん、勝田さんは目ざとい。そうそう、途中のバスからヤマセミを見つけたのもご両所だった。

カワガラス吉野の里に春を待つ（福谷岑子）

小川の集落に入ると天誅組奮闘の生々しい記述や、墓碑が数多く見られる。志士の菩提所の宝泉寺の軒下を借り日向で昼食。前栽にテンダイウヤクが花芽を付けている。また風雨にさらされた道祖神の姿が良い。 **陽だまりに仄かに笑むや道祖神**（古川祐司）

出発1時。東吉野村役場の対岸にニホンオオカミの銅像、天皇陛下もここに立ち寄られたとか。等身大の像は若いオス、スリムで精悍な体つきに彼が駆けた野性あふれる往時の山野へと思いをはせる。 **オオカミの像スリムなり吉野村**（川井秀夫）

ここからは、小来栖、中黒へと高見川沿いに歩度を速めて一気に歩く。川原にはカワラハンノキ、川岸にはケヤキの大本が多い。集落の庭には、ミツマタが花盛り、ソシンロウバイの芳香が道まで漂ってくる。 **ロウバイの香りうつして手水鉢**（和田啓志）

中黒の集落にある興禅寺は山の中腹にある。少し疲れ気味の軀を励まして登る。本尊の薬師如来坐像は国の重文指定。頼んで障子を明けて頂いたが、靴を脱いで拝んだのは、堀川さんだけとは勿体ない。高橋さんが庭の植え込みを解説。地名の「蟻通」、庭にはマンリョウ、センリョウ、ジュウリョウ「万両千両十両鶴有り通し」とか、まさにおめでた尽し。

橋を渡れば、路は川から離れて杉林に入る。杉の磨き丸太の加工場、製材工場、箸の加工場、経木の工場などが続き、木の香、フイトンチッドに包まれて元気回復、清々しい気分で歩く。 **寒干しの経木のひかり鳥のなく**（門田勝代）

吉野村の国栖の集落に入ればゴールの新子（あたらし）は間近か。その昔、滋賀の都から逃れて来た大海人皇子が国栖人に紙漉と養蚕の技を授けたと伝える。今も名産の国栖紙を漉く家は2軒あるらしいが、今回は時間なく割愛した。

予定通り 3時5分 全員元気に新子バス停到着。待合室で、川井会長より苦心作の講評を受ける。17句の中の優秀句3句の作者に賞品が手渡された。優秀句の作者は次の各氏

門田勝代さん、福谷れい子さん、和田啓志さん おめでとうございます。

（作品は上記の文中で紹介いたしました。世話役の作品もついでに記載させて頂きました）

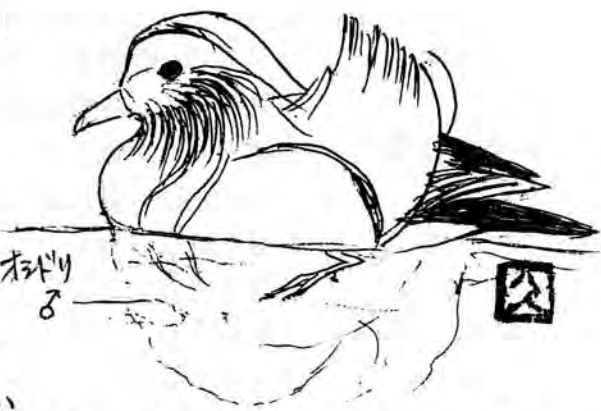
参加された皆さんお疲れ様。楽しい会に盛上げていただき多謝。では又（古川祐司 記）
（参加者）

板橋・勝田・林・福谷・弓場・川井・小嶺・門田・堀川・宮沢・豊島・高橋・岩田・守口・小田・和田・古川

オシドリ

小田 久美子

昔から仲の良いカップルを「おしどり夫婦」といったり、結婚式でも「鴛鴦の契り云々」と引き合いに出されたり、絵画や着物でお馴染みの鳥です。日本国内の山で繁殖し、冬私たちの近くにきてくれます。その頃の雄はまだ雌とほとんど色合いが似ていて識別が難しいですが、暫くすると銀杏羽（想羽とも）などが美しくなってきた雌を追いかけ始めます。カップルになるととても仲が良い鳥ですがこの関係は一年限りのようです、地方により想い鳥（オシドリ）、恋鳥（コシドリ）の呼び名があります。木の上で休んだり、梢に巣を作ったり、ドングリが好きだったり珍しい習性を持つ水鳥です。



NHK2/4(日)、プラネットアースでオシドリのヒナたちが高い木の上からダイビング（落下?）して巣立ちします。何度見てもハラハラ手に汗握る場面です、是非見て下さい。

自然俳句欄

山肌に寒禽来鳴く除伐かな

樋口 善雄

寒空や斧の音のみ銜して

東海自然歩道沿い、忍辱山間伐行事にて。



★暖冬のせい 12 月末には庭のロウバイが良い匂いをさせ今はもう花が終わってしまいました。今年はメジロも賑やかにチュイチュイとおしゃべりし庭木の間を忙しげに飛び交っています。去年はあまり声も聞かなかったアオジは手入れもろくにしていない我が庭がお気に入りチャツ チャツと地鳴きをしてエサをさがしています。この間コタツで寝転んで庭をみていたらなんと目の前のシモクレンの枝にウグイス そのあとアオジが2羽「えっ?」ちょっと幸せな気分になりました。18 日明日香村（家から歩いて 20 分）で今年初のカワセミとジョウビタキ ツグミなどの冬鳥 いつもみるモズ ホオジロ エナガおまけに飛鳥駅近くの池ではゴイサギとホシゴイ コガモ... 家への帰りの高取川の側ではピンズイが 5 羽 尾を振りながらチョコ チョコとエサさがしの最中。今年は鳥が多いように思います。楽しみです。（斎藤）

★斑鳩より イソヒヨドリが散歩コースのスーパーの駐車場などでほとんど毎日見られます。セグロカモメ（冬鳥）を 13 日見ました。23 日ウソ♀2 羽が竜田川のサクラの木にいました。スズメ大ですので、見れたのはラッキーでした。シメ、イカル、ウソとアトリ科の 3 種を見ることが出来ました。（24 日 35 種）（勝田）



【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分 柳生街道沿い。初回作業地隣

〈集合場所〉 国道369号線

忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)

〈日 時〉 2月11日 (日) 9時20分 第65回
2月21日 (水) 10時20分 第66回 〈終了予定〉 3時頃
3月13日 (火) 10時20分 第67回
3月24日 (土) 9時20分 第68回 奈良生協対応

【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている時は中止いたします。

〈交 通〉 奈良交通バス

平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]

土・日・祝 [柳生行き]

JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺

日祝 8:26 8:29 9:02

平日 9:30 9:33 10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット (防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

作業をしなくても結構です。森林浴を楽しんで下さい。待ってます。

〈連絡先〉 弓場厚次

阿部和生

寺田正博

【作業報告】

12月21日 (木) 9時20分 曇

〈参加者〉 中畑、明石、小森、弓場、阿部、寺田。 6名

自然林整備にも多少慣れてきたが人口林と違う戸惑いもある。しかし、作業跡地は目立ってきれいに見える。枯損木、ひどい傾斜木、ササを集中的に処理する。

3時 無事終了。

19年1月8日 (祝) 9時20分 曇 今にもくずれそう。

〈参加者〉 守口京子、中畑、樋口、川井、明石、弓場、寺田。 7名

本年最初の作業開始。柳生街道から見える処を主に作業を進める。

笹の群生に手間がかかる。作業始めなので午後1時に終了。

【植物語源豆知識】 ウメ 梅

〔万葉集〕では仮名書きはウメ、〔古今集〕はムメの傾向から〔日本国語大辞典〕

「ウメの発音は上代はumeと発音したらしいが、平安以後mmeとなったか」としている。新井白石は「梅、義不詳、塾実 (ウムミ) といふに似たり。ウとはウム也、ミとは実といふ語の転ぜし也」といって「梅」の語義を詮索している。

第21回近畿自然歩道・まほろばの路

「コース名」 阿騎野・万葉の路

「日 程」 19年2月15日(木)

「集 合」 榛原駅(近鉄大阪線)南側バス停9時20分

「コ ー ス」 距離約9km 所要時間約4時間30分

万葉のふるさと・阿騎野(大字陀)から、栗原・忍阪を経て、近鉄大和朝倉駅までの古代の道、大和飛鳥〜平安時代を歩くコース。

大字陀町の中心部は旧松山町・織田氏の城下町で、江戸時代の西口関門(国史跡)、森野旧薬園(国史跡)を始め、柿本人麻呂の万葉歌碑が立つ、かぎろひの丘がある。

「交 通」 近鉄を利用して榛原駅へ

西大寺8:21発(急行)→八木8:53発(急行)→榛原9:07着

鶴橋8:18発(大阪線宇治山田行き快速急行)→榛原9:07着

榛原駅より奈良交通バスを利用(9:33発大字陀高校前下車、乗車時間20分、料金400円) 「帰 路」 近鉄大和朝倉駅解散

担当

明石 嘉一郎

二月度例会 『バードウォッチングとハイキング』

オシドリなどのカモたちと、運が良ければウソやベニマシコなどの冬の小鳥たち
オオタカなどが期待出来ます。

【日 時】 2月23日(金)

【集合場所】 近鉄富雄駅東口9時20分

【コ ー ス】 9:37発「傍示」行きバスに乗車、(このバスに必ず乗ります)

傍示→交野山→ふれあいセンター白幡池→源氏の滝→機物神社→JR津田駅

【準 備】 弁当、飲み物、双眼鏡、坂道を下りますので杖があれば心強いです
昨冬お渡しした「保存版カモ」のプリントがある方はお持ち下さい。

【連絡先】 小田 久美子

3月例会「早春の賀名生梅林を散策」

「日 程」 19年3月8日(木)

「集 合」 JR五条駅前 10時25分 10時27分発バスに乗車します

「コース」 五条駅前より奈良交通バスにて約30分の西吉野北曾木の賀名生梅林を訪問し、ゆっくりぼちぼちと登ります。なんと2万本の梅三味(花、香り、味)を楽しみ、足元の春待ち草花も愛でながらの華やかな里山の観察です。

「交 通」 ①近鉄 大和西大寺 8:48発(普通)⇒榎原神宮 9:30発(吉野行き急行)⇒吉野口 9:44着 JR乗り換え

10:01発(JR五条行き普通)⇒五条 10:19着

②近鉄 大阪阿部野橋 8:50発(吉野行き急行)⇒吉野口 9:44着

①のJR五条行きへ乗り換え

③JR 王寺 9:24発 ⇒JR五条駅 10:19着

・JR五条駅10:27発新宮行き特急バス⇒賀名生和田北口10:45着

・「帰路」和田北口バス停 14:53発にて御所、八木方面へ

担 当 : 甲斐野幸一

<お知らせ>3月予定の「葛城山カタクリを愛でる路」は4月に延期いたします。

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

【2月の取り組み】

- ◇ 作業日…2月4日(日)、12日(月)、18日(日)、26日(月)
椎茸づくり…今年も椎茸の栽培を続けます。是非ご参加ください
- ◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣
セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)
☆中古の耕運機が入手できました。畑作が少し楽になるといいですが?
- ◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴
- ◇ 連絡先…事務局 大寺道代

平成18年度1月定例幹事会報告

平成19年1月16日(火) 17:30~20:30 於:奈良県女性センター

出席 12名(欠席2名) 司会:弓場 書記:豊島

【報告事項】

- (1) 会員動向 会計報告 会員 95名 現金残 176,919円(1/16現在)
- (2) 12月度例会 12/4(月)「春日山原始林」自然観察会に17名参加。引き続き行われた忘年会には13名参加。
- (3) 第19回近畿自然歩道 12/12(火)「五條、維新をたずねる路」に7名参加。
- (4) 森林整備作業 12/2(土)7名、12/21(木)6名参加。枯木、傾斜木、竹を集中的に整備。
- (5) シニア進路説明会に3名参加。7名が関心を寄せられた。今後入会を呼びかける。
- (6) いこま棚田クラブ 12月忘年会、里山(竹)の整備、1/7棚田を守る会と協議。1/14とんど
- (7) その他 生駒市から川井会長に「緑の委員会」委員(構成約20名)に参加要請があり受諾。任期は2年。

【討議事項】 1・2・3月行事確認

- (1) 例会
1/28(日) 新春講演会「岩井川法面見学会と講演会」担当(林、川井)
2/23(金) 野鳥観察会 交野ふれあいセンター 詳細2月会報誌 担当(小田)
3/8(木) 西吉野賀名生梅林 詳細2月会報誌 担当(甲斐野)
- (2) 近畿自然歩道
1/18(木)「高見川清流と文学を尋ねる路」1月号会報誌参照 担当(古川)
2/15(木)「阿騎野・万葉の路」担当(明石) 詳細2月会報誌
3月「葛城山カタクリを愛でる路」はカタクリの咲く4月に延期 担当(林)
- (3) 森林整備作業 1/8(祝) 1/23(水) 2/11(日) 2/21(水)
平日は10:20、日祝は9:20 近鉄奈良駅バス乗車
- (4) いこま棚田クラブ 第1・3日曜日 第2・4月曜日 9時生駒駅集合

【企画会議】

次年度の企画について自由討議を行った。企画内容の詳細については再度2月幹事会で協議する。

編集担当:勝田 均

TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫